

Chapter 4

将来のために「備える」には？

生涯収入と支出	79
Discussion 住居は持ち家派？ 賃貸派？	82
マネープランを立てる	83
社会保障制度	87
生活保護制度	91
Discussion 「ベーシックインカム（最低所得保障）」に賛成？ 反対？	94

Chapter 4 将来のために「備える」には？

生涯収入と支出

一生で3億円もお金がかかる？

- トオル君は、日本人の生涯賃金はいくらぐらいか知ってる？
- うーん…。2億円ぐらいですか？
- じゃあ、生涯で使うお金はいくらぐらいだろう？
- 生涯賃金と同じぐらいの2億円？
- 生涯賃金は、学歴や性別で差があるよ。生涯支出も、どのような暮らしをするかで大きく異なってくる。でも、平均を知ること、自分自身の人生設計や働き方を考えることができるんだ。
- どれくらい稼げるか、そして何にいくらぐらいかかるかをあらかじめ知ること、備えることができるんですね。



生涯で稼ぐ金額は

人が一生のうちに稼ぐお金はいくらぐらいになるか、みなさんは想像がつくでしょうか。

学校を卒業した後、正社員として働いた場合の60歳までの生涯賃金（退職金を除く）を性別と学歴で分けて見てみましょう。

男性の場合は、高校卒：2億5,000万円、高専・短大卒：2億4,000万円、大学卒：2億8,000万円です。高校卒と大学卒で3,000万円もの違いがあります。高校卒のほうが社会に出て働く期間は長くなりますが、大学卒のほうが年収は高い傾向

があるため、結果的に生涯賃金が高くなります。

女性の場合は、高校卒：1億8,000万円、高専・短大卒：2億円、大学卒：2億4,000万円となっています。女性の場合は、高校卒と大学卒で6,000万円もの違いが生じています。

企業規模別には、男性だけで見てみると、高校卒は1,000人以上規模で2億7,000万円、10～99人規模で2億1,000万円、大学卒は1,000人以上規模で3億1,000万円、10～99人規模で2億3,000万円となっています。

一般的に、規模の大きな会社ほど生涯賃金が増えるといえるでしょう。

◆生涯収入の平均額の比較

		高校卒	高専・短大卒	大学卒
男性		2億5,000万円	2億4,000万円	2億8,000万円
女性		1億8,000万円	2億円	2億4,000万円

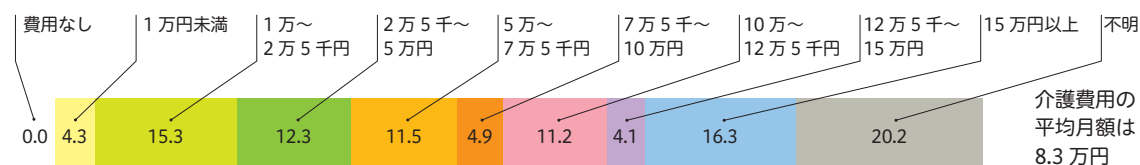
老後は生活費以外に 介護費用も

老後は、生活費のほかに、介護が必要になった場合にかかるお金も考える必要があります。

元気な高齢者も多いのですが、年齢を重ねるごとに、介護が必要になる割合は増えます。自宅で介護を受ける場合の介護期間の平均は54.5か月

で、月々の費用の平均は約8万3,000円です。さらに、家の改築や介護用ベッドの購入など一時的な費用の平均が74万円となっています。これらを合計すると、自宅で介護を受ける場合の費用は、526万3,500円となります。有料老人ホームなどで介護を受ける場合は、もっとお金がかかります。公的年金だけでは足りないお金を、現役時代に準備しておかなければなりません。

◆介護費用（月額）



出典：「生命保険に関する全国実態調査（速報版）」（生命保険文化センター、2021年）

Discussion

住居は持ち家派？賃貸派？



僕はいつか一戸建てを建てたいんだ。僕は家にいるのが好きだから、内装や間取りを自由に決めたりリフォームしたりできるマイホームがいいんだよね。

素敵ね。私は、いろいろな場所に住みたいし、子どもが生まれたり独立したりしても、家族の人数に合った広さの家にすぐに引っ越せるから賃貸がいいな。



確かに、賃貸のほうが自由度は高いかもしれないね。転勤や転職にも、家のことが足かせにならないだろうし。でも、老後の心配はどうだろう。孤独死を心配したりして、高齢者はなかなか家を借りられないって聞いたことがあるよ。

超高齢社会だから、最近では、高齢者を対象にした保証人制度も充実してきているみたいだし、入居審査も少しずつ厳しくなっているみたいだよ。



確かに、今の日本で高齢者の入居を断っていたら、賃貸ビジネスも成り立たなくなっちゃうよね。

「持ち家＝資産」という考え方も、物件の場所によっては資産価値がほとんどなくなってしまうリスクもあるよ。



逆に考えると、場所によっては資産価値も上がるってことだよな。売ってお金に換えられれば、高齢者施設の入居金にもなるよ。

賃貸は家賃を払っても自分の資産にはならないし、家賃を払い続けなくてはいけなから、マネープランも持ち家とは変わってくるね。



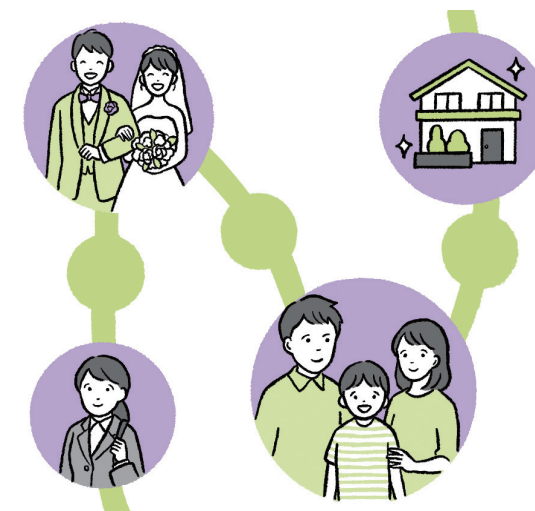
購入か賃貸かは、働き方やどう生きたいかで変わってくるし、それに応じたマネープランが必要だね。

Chapter 4 将来のために「備える」には？

マネープランを立てる

「将来のことなんてわからない」からこそ、計画する

- ：将来のことなんてわからないのにマネープランを立てる意味はあるんですか？
- ：前もっていろいろなことに準備することは、意外と役に立つんだよ。例えば、トオル君の夢は何？
- ：野球と英語が好きで、メジャーリーグで活躍する日本人選手のための通訳になりたいんです。
- ：その夢のために準備できることはなんだろう。
- ：大学生のうちに英語力を磨くために留学したいと思っています。
- ：じゃあそのためにいくら、いつまでに必要か、アルバイトをどれくらいすればいいか、というふう準備すべきことが見えてくるよね。マネープランは、夢を叶える道しるべにもなるんだ。
- ：マネープランを立てるのが楽しみになってきました！



マネープランを立てる メリットは？

人生に対する長期的な資金計画をマネープランといいます。マネープランを立てる主なメリットは、次の3つです。

① 早い段階から資産形成（貯蓄）ができる

人生の3大資金である教育資金、住宅資金、老後資金は、数百万円から数千万円単位でかかります。急に用意できるものではなく、長期間かけて準備する必要があります。

このような大きなお金についても、マネープランを立てることで、貯蓄などの準備を早い時期から始めることができます。また、目標や期限がは

っきりすることで、やみくもに不安にならずにすむという効果もあります。

② 夢や目標の実現性が高まる

人生で必要になるのは、3大資金だけではありません。一度きりの人生ですから、せっかくなたくさん夢や目標をもって楽しんで生きていきたいものです。

必要な資金、そして必要な準備を具体的に考えることで、実現にぐっと近づくはずですよ。

③ 前向きなキャリア設計にもつながる

必要な資金がはっきりすれば、資金を稼ぐための最も基本の手段である「働くこと」について考えることになります。資格取得や働きたい企業探しなど、前向きなスキル磨きをがんばるきっかけ

◆マネープランを立てる3つのメリット

1 早い段階から 資産形成ができる



2 夢や目標の 実現性が高まる



3 前向きなキャリア設計にも つながる

